「エクアドル通信!」

JICA 海外協力隊月報　第 15 号
2026 年 10 月 28 日 発行：楠田恭子

写真ワークショップ

　同期の写真隊員･直子さんを招き、「光と影」をテーマに写真ワークショップを実施しました。光の角度や強さによる違いを撮影して比較したほか、ペアで撮影し合い、みんなで作品を鑑賞しました。ダンス部の学生もモデルとして参加し、楽しく学ぶ時間になりました。









出前アクティビティ

　中間テスト期間中、大学本館のホールで２回の出前アクティビティを実施しました。１回目は「箸で豆拾い」とダンス、２回目はボランティア仲間の協力を得て、浴衣の着付けと折り紙を行いました。同僚は人形を使った演劇体験を担当しました。

　文化スペースをまだ知らない学生も多く、今回の活動は良い PR の機会になりました。今後もこうした活動を企画・実施していきたいです。



↑ 即興で人形劇に挑戦しています。

平和について

　学生約 60 名を対象に、２回の平和教育の授業を実施しました。広島出身の隊員と同期隊員と協力し、原爆の経験を大学生にどう伝えるか、平和を守るために何ができるかを考えて授業を組み立てました。

　ポスターや動画を活用し、原爆や戦争の悲惨さ、人々の人生を大きく変えてしまう恐ろしさを伝えました。最後に、平和への願いを込めて折り鶴を作りました。













↑ 浴衣も大好評。



千羽鶴の完成に向けて、学生も協力してくれました。



キチュア語コーナー

　エクアドルの言語の１つキチュア語を紹介します。**"Alli chisi"(アジ チシ)**は「こんにちは」とあいさつする時に使える表現です。